家庭保存版

南海トラフ地震の情報に伴う学校の対応について

気象庁は、南海トラフ地震発生時、その危険度に応じ、地震臨時情報を下記の3つの段階で発表します。

南海トラフ地震臨時情報				
調査中	巨大地震注意	巨大地震警戒		
・日ごろからの地震に対する備えを再確認する。 ・情報収集に努める。 ・巨大地震警戒等、次の情報発表に備えた準備を進める。	・情報収集に努める。 ・注意対応をとりながら学校活動を継続するが、発生した地震による被害や地震関連情報等の状況に応じて、下校や休校の措置を講じる。 ・避難者の受け入れに備えた準備等を行う。	・情報収集に努める。 ・学校は、1週間の臨時休業を基本とする。 ・学校災害対策本部を設置する。 ・避難者の受け入れを行う。		

学校における南海トラフ地震対策としての授業の打ち切りや下校・休校措置は、下 記のように「**南海トラフ地震臨時情報」の巨大地震注意・巨大地震警戒が**発表された 時点で行うこととしますので、ご理解とご協力をお願い致します。

記

- (1) 児童が<u>在校中</u>に**南海トラフ地震臨時情報の巨大地震警戒**が発表された場合には、 すみやかに下校させます。**巨大地震注意**の場合は、注意対応をとりながら学校 活動を継続しますが、発生した地震による被害や地震関連情報等の状況に応じ て、学校で待機、または、下校させます。
- (2) 児童が<u>登下校中</u>に南海トラフ地震臨時情報の巨大地震警戒が発表された場合には、帰宅することとします。巨大地震注意の場合は、注意対応をとりながら学校活動を継続しますが、発生した地震による被害や地震関連情報等の状況に応じて、帰宅することとします。
- (3) 児童が<u>在宅中</u>に**南海トラフ地震臨時情報の巨大地震警戒**が発表された場合には、 自宅待機とします。**巨大地震注意**の場合は、注意対応をとりながら学校活動を 継続しますが、発生した地震による被害や地震関連情報等の状況に応じて、自 宅待機とします。
- (4) 南海トラフ地震臨時情報(調査終了)が発表されたときには、平常の学校活動を継続します。

4. 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)発表時の児童生徒在校中対応フロー

状況及び対応	管理職	教職員	児童生徒等	
情報発表	教職員に情報を周知する。	児童生徒等を教室 に集合させるなど して所在を把握す る。	指示に従い、勝手な行動をとらない。	
所在把握	学校災害效	対策本部設置		
	各班の役割に行	送い、行動する。		
下校措置、保護、保護、おうでは、おうでは、おうでは、では、ののでは、できる。では、ののでは、ののでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは、のでは	会へ下校	収集転倒 下る。 に機対確 である。 が一番要強 でのがじう。 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	示に従い、 示に従い、 保護 もに とする。 はまする。 場合によって 場合に持機を が見量 が見量 が見まる。	
避難者受け入れ、 教育委員会等へ の報告	避難者を受け入れた場合、市町災害対策本部及び教育委員会へ報告する。	避難者の受け入れ 準備等をする。 避難者がいる場 合、受け入れを行 う。		
地震発生または調査終了				

※児童生徒等が在宅中に情報が発表された場合には、休校として登校させない。